

野菜栽培

使用教科書・副教材	単位数	学年・学級・学科・選択名等
野菜（農文協）	4	3年(アグリビジネス科)

1 学習の到達目標

学習の到達目標	野菜の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付ける。
---------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法	
					①	②	③	④		
前期	4	オリエンテーション	1	・本科目での学習内容の説明、授業の進め方、受講する上での注意事項などを理解する。	○				取り組み姿勢	
		座学	2	・良い苗の条件について学び、苗販売の準備を行う。	○	○		○	レポート等	
		実習	4	・果菜類の移植ができるようになる。	○		○	○	取り組み姿勢 作業の出来 記録簿	
			2	・イチゴの収穫・調整ができるようになる。						
	2		・イチゴの栽培管理ができるようになる。							
	5	座学	2	・スイカ・セルリーの播種ができるようになる。						
			2	・イチゴの基本情報、来歴等を学ぶ。	○	○		○	レポート等	
			4	・苗販売を通じ、流通について学ぶ。	○		○	○	取り組み姿勢 作業の出来 記録簿	
		実習	2	・イチゴの苗取りができるようになる。						
			2	・長ネギの定植ができるようになる。						
			2	・スイカの移植・苗管理ができるようになる。						
	6	座学	2	・セルリーの移植・苗管理ができるようになる。						
			2	・長ネギの基本情報、来歴等を学ぶ。	○	○		○	レポート等	
		前期中間考査							○	定期考査
		実習	2	・生産終了後のハウス管理について学ぶ。	○		○	○	取り組み姿勢 作業の出来 記録簿	
			2	・長ネギの除草ができるようになる。						
	7	演習	4	・スイカの定植準備および定植ができるようになる。						
			2	・セルリーの定植ができるようになる。						
座学		4	・校内鑑定競技大会への学習を通じて、農業クラブへの興味・関心を高める。	○			○	取り組み姿勢 小テスト		
		2	・スイカの基本情報、来歴等を学ぶ	○	○		○	レポート等		
8	実習	2	・長ネギの除草・培土ができるようになる。	○		○	○	取り組み姿勢 作業の出来 記録簿		
		2	・イチゴ苗の管理ができるようになる。							
	座学	2	・スイカの栽培管理が出来るようになる。							
		2	・セルリーの除草ができるようになる。							
9	座学	2	・セルリーの基本情報、来歴等を学ぶ	○	○		○	レポート等		
		2	・スイカの収穫・調整ができるようになる	○		○	○	取り組み姿勢 作業の出来 記録簿		
	実習	4	・セルリーの収穫・調整ができるようになる、							
		4	・2年時に学んだことを活かして、主体的な実践を行う。							
	座学	4	・ジャガイモ収穫							
		2	・野菜の品質	○	○		○	レポート等		
前期期末考査							○	定期考査		
後期	10	実習	4	・イチゴの定植方法を知り実践出来るようになる。	○		○	○	取り組み姿勢 作業の出来 記録簿	
			4	・長ネギの収穫・調整が出来るようになる。						
		座学	4	・セルリーの収穫・調整が出来るようになる。						
			2	・使用後のハウスの片付けができるようになる。						
後期	10	実習	4	・各種野菜について性状や来歴等をレポートにまとめる。	○	○		○	レポート等	
			4	・様々な野菜の収穫・調整・出荷準備を行い、流通の流れを理解する。	○		○		取り組み姿勢 作業の出来 記録簿	
		4	・生産終了後の圃場の管理ができるようになる。							

後 期	11	座学	・各種野菜の栽培	4	・各種野菜についてレポートにまとめる。	○	○	○	レポート等	
		実習	・豆類・カボチャの種の選別	4	・今までに学んできたことを活かして、主体的に選別が出来るようになる。	○		○	取り組み姿勢 作業の出来	
	後期中間考査								○ 定期考査	
	12	座学	・農業技術検定対策(2～3級程度)	4	・授業で学んだことをもとに、実際の模擬問題を解き、自分の理解度を知る。	○			○	模擬問題
		座学	・農業技術検定対策(2～3級程度) ・野菜生産の経営的特徴 ・作付体系の改善	4	・授業で学んだことをもとに、実際の模擬問題を解き、自分の理解度を知る。	○			○	模擬問題
				2	・野菜の生産費と収益性について理解し、経営について考察する	○	○		○	取り組み レポート
				2	・3年間の学習を振り返り、今後の学校圃場の作付けについて考察する。	○	○			取り組み レポート
	1	座学	・これからの野菜の生産と経営		・これからの野菜生産の将来と展望について考察する。	○	○			取り組み レポート
		後期期末考査								○ 定期考査

3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技 能	④知識・理解
内 容	我が国の野菜栽培について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組む。	野菜栽培に関する課題の解決を目指して考え、適切に判断し、自分の考えを表現する能力を身に付けている。	野菜栽培に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、計画を立て、技術を活用できる。	野菜栽培の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜栽培の意義や役割を理解している。
割 合	20%(点)	10%(点)	10%(点)	60%(点)

4 履修にあたっての注意事項

- 野菜栽培は、2、3学年の2年間継続の授業となります。
- 座学と実習を平行して行います。
- 野菜の生育状況によって、授業の順序や進度に変更が生じる場合があります。
- 野菜の生育状況によって、担当野菜以外の野菜の実習が入る場合があります。
- 実習に際しては、学校指定の実習服・帽子・長靴を正しく着用して臨むこと。
- 座学に際しては、教科書・ファイルを毎時間持参すること。
- 実習は危険を伴う作業をすることもあるため、指示を良く聞き、指示に従い、まじめに取り組むこと。

評価について

評価	評価点
10	100 ～ 93
9	92 ～ 85
8	84 ～ 77
7	76 ～ 70
6	69 ～ 61
5	60 ～ 53
4	52 ～ 45
3	44 ～ 38
2	37 ～ 30
1	29 ～ 0

学年末評定について

評定	評価点
5	100 ～ 85
4	84 ～ 70
3	69 ～ 45
2	44 ～ 30
1	29 ～ 0

※ 以上の点を守れない場合には未履修になる可能性があるため、注意すること